



国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会

2020 International Women's Wheelchair Basketball Friendship Games OSAKA CUP

地域親善交流会

2020年2月13日 木

障がい者のスポーツの普及と障がいや障がい者への理解・啓発を図るため、子どもたちや地域の方々が各国の選手と触れ合う交流会を大阪市内8区の会場で行います。



国際親善試合

2月14日▶15日▶16日

金

土

日

▶参加国



▶会場 丸善インテックアリーナ大阪
〈大阪市中央体育館〉

▶アクセス Osaka Metro 中央線「朝潮橋」駅より約300m



■主催

大阪市／(一社)日本車いすバスケットボール連盟／(社福)大阪市障害者福祉・スポーツ協会

■問合せ

国際親善車いすバスケットボール大阪大会 実行委員会事務局
(社福) 大阪市障害者福祉・スポーツ協会 障がい者スポーツ振興部 スポーツ振興室
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-32 大阪市長居障がい者スポーツセンター内
電話 06-6606-1631 FAX 06-6606-1638 <http://www.osakacup.org/>

入場無料

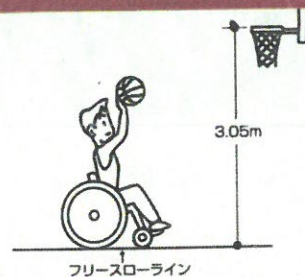


車いすバスケットボールについて

ゲームのあらまし

■車いすバスケットボールのルールは、一般のバスケットボールのルールとほぼ同じです。1チーム5人の選手がボールを奪い合い、一般の競技と同じ高さ（3.05m）のゴールにボールを投げ入れて、得点を競います。スピードや敏捷性、持久力に加えて、車いすを操作する技術などが決め手となります。

■ゲームは10分のピリオドを4回行います。第1ピリオドと第2ピリオドの間、第3ピリオドと第4ピリオドの間にそれぞれ2分のインターバルがあり、第2ピリオドと第3ピリオドの間のハーフタイムは、10分または15分です。



特有のルール

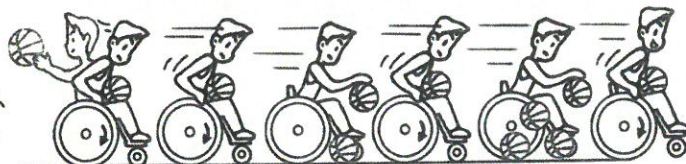


◀トラベリング

選手がボールを持っているときのプッシュ（車いすを手でこぐこと）は、連続2回まで認められています。3回以上プッシュするとトラベリングとなり、相手チームのスロー・インとなります。

▶ダブルドリブル

ダブルドリブルは適用されません。プッシュが連続2回以内で、次にドリブルをすれば、繰り返しプッシュすることができます。



◀車いすの転倒

試合中に車いすが転倒した場合は、自力で起きあがらなければなりません。起きあがることができない場合は、審判の判断で試合が中断され、チームスタッフが介助します。

▶選手とチームの持ち点

選手一人ひとりが障がいの程度により、1.0点から0.5点きざみで4.5点まで、持ち点でクラス分けされています。

また、コートに出ている選手5人の持ち点の合計が14.0点以内で編成するように決められています。

持ち点	程度	主な動き
1.0または1.5	重い	腹筋、背筋が機能せず、座位バランスをとることができません。
2.0または2.5	↑	腹筋、背筋がある程度機能しており、前傾の姿勢がとれます。
3.0または3.5	↓	下肢にわずかな筋力があり、深い前傾姿勢から早く上体を起こすことができます。
4.0または4.5	軽い	両手をあげて、片方向に（4.5点は両方向に）車いすを大きく傾けることができます。

観戦団体募集

18回目となる本大会は、国際親善や障がい及び障がい者への理解・啓発を目的に、多くの小・中学生、団体のみなさまにご観戦いただけてきました。団体席を予約できますので、お気軽にお申し込み・お問い合わせください。
【2019年9月中旬より受付開始予定】

